

木更津工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	日本語ⅢB
<b>科目基礎情報</b>				
科目番号	g0940	科目区分	一般 / 必修(留学生)	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	情報工学科	対象学年	5	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	『日本語文法演習 待遇表現』スリーエーネットワーク N1 対策教材			
担当教員	田嶋 彩香,小高 愛			
<b>到達目標</b>				
1. 専門的な授業の流れが正しく理解でき、内容を正確につかむことができる。 2. 個人面接に対処できる。専門的な話題の中で、自分の意見が正確に伝えられる。専門の発表ができる。 3. N1レベルの読解・文法・語彙などを理解することができる。 4. 専門の分野で、論理的な文章が書ける。				
<b>ループリック</b>				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	専門的な授業の流れが正しく理解でき、内容を正確につかむことができる。	専門的な授業の流れが理解でき、内容をおおまかにつかむことができる。	専門的な授業の流れが理解できず、内容をつかむことができない。	
評価項目2	専門的な話題の中で、自分の意見が正確に伝えられる。専門についての発表が適切にできる。	専門的な話題の中で、自分の意見が伝えられる。専門についての発表ができる。	専門的な話題の中で、自分の意見が正確に伝えられない。専門についての発表が適切にできない。	
評価項目3	N1レベルの読解内容を正確に理解することができる。	N1レベルの読解内容を理解することができる。	N1レベルの読解内容を理解することができない。	
評価項目4	専門の分野で、論理的な文章が適切に書ける。	専門の分野で、論理的な文章が書ける。	専門の分野で、論理的な文章が書けない。	
<b>学科の到達目標項目との関係</b>				
JABEE C-1				
<b>教育方法等</b>				
概要	日本で日常生活を送る上で、積極的にネットワークに加わっていける日本語能力、また、専門分野において専門知識を身につけ、自分の意見を述べることができる日本語能力を身につけることを重視する。			
授業の進め方・方法	通常の授業では、文法と待遇表現の教科書を学ぶ。クラスでは常に全員が意見を言い、話し合いながら授業を進める。必要に応じて、教科書以外にN1レベルの語彙や慣用表現なども学習する。年間一回、興味のあるテーマを見つけ、レポートを書く。レポートは留学生の文集「U H O」に掲載される。			
注意点	授業中は積極的に課題に取り組むこと。学習事項の定着のため、各自しっかりと復習をすること。			
<b>授業の属性・履修上の区分</b>				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
<b>授業計画</b>				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	待遇表現 N1対策	
		2週	待遇表現 N1対策	
		3週	待遇表現 N1対策	
		4週	待遇表現 N1対策	
		5週	待遇表現 N1対策	
		6週	語彙 作文 読解	
		7週	後期中間テスト	
		8週	後期中間試験期間	
	4thQ	9週	後期中間テストフィードバック 待遇表現	
		10週	待遇表現	
		11週	待遇表現	
		12週	待遇表現	
		13週	待遇表現	
		14週	語彙 作文 読解	
		15週	後期定期テスト	
		16週	後期末試験期間	
<b>評価割合</b>				
	試験	発表	相互評価	態度
総合評価割合	60	10	0	10
基礎的能力	60	10	0	10
専門的能力	0	0	0	0
	ポートフォリオ	その他	合計	
	0	20	100	
	0	20	100	
	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---